



環境
自然



施設



伊庭貞剛

18
まいん

フォレスターハウス



フォレスターハウス

別子銅山を旧のあおあおとした
婆にしておかえしする

フォレスターハウス

は、伊庭貞剛いばていごうの大植林事業の発祥地である別子山中七番なかしちばんに、平成5年(1993)11月にオープンしました。

住友の森づくりに力を注いだ先人たちの偉業をたたえてく木を植えた人々＝森林技術者>にちなんでフォレスターハウスと命名されました。

住友林業が持つ林での木材生産と、環境保全を目的に、一般の方々に自然や林業に交わる機会のふれあいの場を提供してくれています。

フォレスターハウスの建物内では、多くの写真やイラスト、グラフ、ビデオなどにより林業の歴史や植林事業など環境保全の取り組みについて詳しく分かりやすく紹介しています。



ここから、日本の大規模な植林事業が始まった



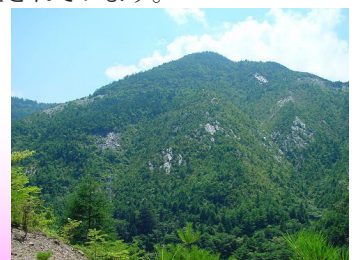
伊庭貞剛没後75周年記念碑

また、その建物を中心として「住友の森エコシステム」として1890ヘクタールを対象面積に実験林としてさまざまな取り組みが行われています。

平成13年(2001)10月21日、記念広場において伊庭貞剛没後75周年を記念して式典が行われました。

式典には伊庭貞剛の企業・行政の関係者のみならずご子孫の方など多くの方が参列され、碑の完成を祝いました。

この碑を作るために、市民の方々に100円募金を募り、その気持ちが集まり建立されました。碑の裏面には銅版で作られた説明文が設置されています。



何本?

伊庭貞剛が初めた大植林事業、年に何本ぐらいの木が植林されたのでしょうか。

答えは、裏にあります。

